

地域おこし協力隊配置要望書

土倉地区では、以下の理由に基づき、令和2年度において「地域おこし協力隊」（以下、隊員）の配置を要望します。また、隊員の受入体制に十分な整備をしていることを併せて申し添えます。

<p>地域の将来像</p>	<p>土倉集落は、最年少者が59歳と超高齢化集落となり、このままでは廃村の危機にある。この危機を脱却するためには、地元の力だけでは到底太刀打ちできないことから、地域外の若い人などの力を借りたいと考えている。まずは、田舎体験や農業体験をとおした交流人口を増加させ、将来的には定住人口を増加させて、古き良き文化と若者文化が同居できる地域づくりを行いたい。</p> <p>将来像の共有範囲：地区全体 地区総会にて協力隊を要望する旨報告とともに将来像を示す。</p>
<p>隊員を必要とする理由</p>	<p>地域おこし協力隊からは、地区に対して人を呼び寄せる仕組みづくりや地区での交流体験プログラムなどの企画立案をお願いしたい。地区の住民は体験交流の場の提供や昔ながらの地区の活動などの体験をとおして来訪者に地域の良さや生活の大変なところを伝えたい。これらの地区の良い面や悪い面を体験してもらうことにより、地区の魅力を来訪者に知ってもらいたい。</p> <p>協力隊要望の合意範囲：地区の一部のみ →（地区全体でない場合）地区全体に周知する予定と方法：活動を通しての協力隊の認知度に応じて関係者に伝えていく。</p>
<p>隊員に期待する具体的な活動、そのための隊員像</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験プログラムの企画立案・実行</li> <li>・体験者募集・交通、宿泊等手配などの実務</li> <li>・老若男女を問わずコミュニケーションをとれる、明るく活発な人柄を希望</li> <li>・30代～40代で旅行業や広告代理店業、イベントなどに携わった経験のある方</li> </ul>
<p>任用後の隊員の展望</p>	<p>地区の体験メニューなどを商業化し、実際に運用して集落に定住してもらいたい。このほか、地区特産野菜の販売やお米の販売など、地区の資源を商業化して隊員に販売してもらいたい。</p>
<p>隊員の活動エリア（予定）</p>	<p>土倉・倉下</p>
<p>世話役 ※隊員の相談、地域への紹介などを担う者</p>	<p>① 住所： 氏名：</p> <p>② 住所： 氏名：</p> <p>③ 住所： 氏名：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的に隊員の最長任期(3年間)にわたり、世話役となれる人。</li> <li>・必ず複数名選任すること。集落に一人以上が望ましい。</li> <li>・女性隊員を希望する場合は、女性の世話役を選定すること。</li> </ul>

隊員年間活動計画

期間		具体的な活動概要
第1期	4月	各家庭・団体あいさつ回
	5月	地域発見ヒアリング
	6月	体験拠点学習・探索
第2期	7月	地域見守り・課題発見
	8月	体験プログラム計画策定
	9月	
第3期	10月	
	11月	関係機関との調整
	12月	モニタリング希望者募集
第4期	1月	
	2月	モニタリング体験実施
	3月	